

スポーツマネジメント研修		講義と実習	国際交流委員会	
科目カテゴリー	国際ビジネス学科の教養選択科目	科目ナンバリング	22200132	

1. 授業のねらい・概要

アメリカのスポーツビジネスは50兆円規模、世界の3分の1のシェアを占める巨大市場である。スポーツ大国の実情はわが国にいながらでもある程度は推測できるが、やはり「百聞は一見に如かず」。直接見聞し、自身の感性で感じ取ることにまさるものはない。これまでの自分の常識を覆すさまざまな新発見がある。

本研修では、アメリカのなかでも最先端を走るプロやアマチュアのスポーツ組織を訪問し、スポーツマネジメントやビジネスモデル、科学的トレーニング法などについて実際に体験する。そこでは、先方の説明をただ受動的に受け取るのではなく、自身の言葉で知りたいことを伝え、コミュニケーションを深める。スポーツ選手、指導者、トレーナーを目指す学生にとって、世界最先端のスポーツ現場で実体験することは、専門性はもちろん異文化理解・国際感覚を高める上でも貴重な経験となるだろう。

2. 授業の進め方

研修に先立って3回程度の事前授業を実施し、海外研修における一般的な注意事項、準備物、研修先の理解を深める。研修先は、アメリカのカリフォルニア州ロサンゼルス市であり、春休みの渡航を予定している。研修機関は、プロやアマチュアのスポーツ組織とし、スポーツマネジメントやビジネスモデル、科学的トレーニング法などについてレクチャーを受け、実際に体験する。帰国後に指定された期限内にレポートを提出する。

なお、事前授業の無断欠席や準備の遅れなど、国際交流委員会が海外での研修に際し不適合と判断した場合には参加を認めない。また、新型コロナウイルスなどの感染症の流行や災害など、アメリカ渡航自体が困難となった場合には、研修内容を変更ないし中止することがある。

3. 授業計画

①研修に先立って3回程度の事前授業を行う。海外渡航に関する注意、研修先の事前知識、ESTA、旅行保険加入の手続き、英語等に関する講義を中心とする。	③研修機関にてスポーツマネジメントやビジネスモデル、科学的トレーニング法などについてレクチャーを受け実践する。
②研修期間は一週間程度とする(5泊7日の予定)。	④帰国後にレポートを提出する。

4. 準備学修(予習・復習等)の具体的な内容及びそれに必要な時間

パスポートやESTA、旅行保険、キャッシュカードなどの取得に関し、指定した期限までに各自準備すること。また、渡航先の文化、気候、地理的情報、社会情勢等に関して情報を収集し、質問等をまとめておくこと(2時間程度)。日本国籍以外の者でアメリカ入国に際してビザが必要となる学生は、十分な時間的余裕をもって取得しておくこと。

5. 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法

帰国報告会にて意見交換等実施する。

6. 授業における学修の到達目標

スポーツマネジメントやビジネスモデル、科学的トレーニング法に関する最先端の知識を得て、わが国との違いや自分が努力すべきポイントを明らかにすることを目標とする。

7. 成績評価の方法・基準

事前授業の受講態度や研修への積極性(50%)、帰国後レポート(50%)の提出にて総合的に評価する。

8. テキスト・参考文献

事前授業や現地各地で配布される資料を用いる。

9. 受講上の留意事項

- ①日程等の詳細は、掲示板や案内ポスターにより告知する。研修費には、渡航費、宿泊費、各種施設研修費を含み、およそ30万円を予定している。ただし、金額は参加人数や為替レートの変動等により変わることがある。現地での飲食や土産物などの費用は各自で用意すること。
- ②オプション(追加費用)で、スポーツスタジアムでの観戦も計画している。
- ③最小催行人数は10名であり、それに満たない場合は実施しない。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当しない。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。